

服飾造形・実習Ⅱ

峯岸 恵・齋藤 宣

服飾造形科 2年 通年 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

ドレメ式原型を使用し、制作するアイテムごとのデザインに対する素材や付属の選び方、裁断、フィッティング、パターン修正、縫製等、様々な技術を修得する。視覚的な美しさと用途に応じたデザイン性、機能性、着心地等も追及して造形感覚を養う。産学連携（クリエイティブ実習）・（マーケティングリサーチ）（お直し実習）の授業を「服飾造形・実習Ⅱ」の中で実施する。産学連携授業については別紙シラバスに記述する。

◆到達目標（学修成果）

服種のデザインから制作までを一貫して行ない、立体構成（パターンメイキング&ドレーピング）実習Ⅱ、アパレル生産技術実習の授業と連携を持ち、アパレル業界で行われている既製服の物作りも学び、自らのデザインを具現化出来るようになる。1年次で修得した服飾造形の知識・技術の向上とデザインのオリジナリティと感性を高め、クォリティの高い作品製作を目指す。また、検定試験の資格取得も目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため、卒業に必要な科目。制作するアイテムごとにコンセプトやデザインを検討し、研究することで確かな技術と優れた作品制作へ繋がる。

◆授業計画

週数		授業内容	準備学修		
			具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)	
1週	台衿付きシャツ	パターンメイキング	予習：布の準備	20分	
2週		シャツパターン作成～裁断	復習：作業の確認	20分	
3週		縫製	復習：作業の確認	60分	
4週		春夏アイテムのパターンメイキング	復習：作業の確認	20分	
5週	カジュアルウェア (産学連携 クリエイティブ 実習)	デザイン考案、素材選択、 パターンメイキング	予習：デザイン考案	30分	
6週		トワル作成、フィッティング、 パターン修正 産学連携授業 デザイン考案	予習：パターンの確認 予習：リサーチ	60分	
7週		実物生地裁断、縫製 産学連携授業 素材選択、スワッチ作成	予習：縫製の確認 復習：デザイン考案 スワッチ作成	60分	
8週		縫製、 産学連携授業 デザインボード作成、	復習：作業の確認 予習：プレゼンテーション準備	60分	
9週		縫製 プレゼンテーション	復習：作業の確認	60分	
10週		仕上げ、提出	復習：縫製仕様書等作成	60分	
11週	産学連携 クリエイティブ 実習 (産学連携 お直し実習)	パターンメイキング、トワル作成	予習：パターンの確認	60分	
12週		パターンメイキング、トワル作成	産学連携① 復習：パターンの確認	30分	
13週		フィッティング、パターン修正、	復習：パターンの確認	60分	
14週		テキスタイル作成、実物生地裁断、縫製	産学連携② 復習：縫製	夏休み 宿題 含む	
15週		産学連携お直し実習	産学連携お直し実習 裾上げ実技 等	復習：作業の確認	20分
16週					
17週					
18週		プレゼンテーション資料作成 プレゼンテーション審査会		予習：プレゼンテーション準備	60分
19週	テーラード ジャケット (アパレル生産技 術実習)	ジャケットパターン～裁断	産学連携④ 予習：布の準備	20分	
20週		縫製	復習：作業の確認	20分	
21週		秋冬アイテムのパターンメイキング	検定対策① 復習：作業の確認	20分	
22週	産学連携プレゼン	産学連携プレゼン作業、課題のまとめ	産学連携⑤ 予習：プレゼンテーション準備	30分	
23週	卒業制作	デザイン考案、素材選択、 パターンメイキング	検定対策② 予習：市場調査 予習：デザイン考案	60分	
24週		パターンメイキング	予習：素材探し	60分	

◆フィードバックの方法

製図、縫製仕様書、ポートフォリオ、作品等の課題は、点検・採点後に返却する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	25%
試験	—
課題	60%
検定試験結果	5%
企業評価（インターシップ）	10%

- ・授業態度・姿勢、提出物の遅滞、作品完成度等を総合的に評価する。
- ・企業評価は審査会等による企業講師の評価として加える。

◆教科書

ドレメ式原型、PATTERN MAKING I・II、SEWING I～IV、基礎テキスト

◆参考文献

ドレメセミナーテキスト、ドレメニューパターンブック、各種ファッション雑誌その他随時紹介。

◆オフィスアワー

峯岸：火曜日（16時～17時）本校舎3階 1031教室
 斎藤：火曜日（16時～17時）本校舎3階 1036教室

◆備考

授業内容、作品・課題の返却時期は変更することもある。

立体構成（ドレーピング&パターンメイキング）実習

中根 歩

服飾造形科 2年 年間 10回 必修（実習・実技）

◆授業の方針・概要

ドレーピングは服の形をイメージする/作り上げるのに最も直観的な方法であり、基本的なスキルを身に付けることで自身の創造力の底上げが可能になります。企業パタンナー/フリーランスパタンナーとしての経験を活かし、発想を具現化するための実践的な演習を行います。

◆到達目標（学修成果）

服の構造を理解し、シルエットを形作れるようになること。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため、卒業に必要な科目です。
基礎技術を学ぶことで服飾造形の際に平面/立体2方向からのアプローチが可能となります。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	地直し説明 ブラウスの前身頃のドレーピング	予習：シラバスを読む	10分
2回	ブラウスの前後身頃ドレーピング	予習：シーチング地直し	15分
3回	ウエストダーツの作り方	復習：授業内容を整理し、まとめる	10分
4回	身頃のトワル修正とドラフティング	復習：授業内容を整理し、まとめる	10分
5回	〃	復習：授業内容を整理し、まとめる	10分
6回	袖のラフパターン作成と袖付け	予習：袖製図の手順を確認	15分
7回	〃	予習：シーチング地直し	15分
8回	身頃・袖のトワル修正とドラフティング	復習：授業内容を整理し、まとめる	10分
9回	衿付け	予習：シーチング地直し	15分
10回	ミシン縫い	予習：ミシン縫いに必要な準備	10分

◆フィードバックの方法

毎回の授業内で課題のチェック時に、個人に合わせたレクチャーを行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画（インターシップ）	—

◆教科書

なし

◆参考文献

なし

◆オフィスアワー

授業終了後に質疑応答の時間を設ける。

◆備考

授業内容は変更することもある。

卒業制作

峯岸 恵・齋藤 宣

服飾造形科 2年 後期 20日間 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

卒業制作は、2年間で学んだすべての知識や技術、感性の集大成である。

各自のテーマに基づき、デザインと素材について検討しながらパターン・縫製テクニックなどを考慮し、応用の技術を修得する。クリエイションや技術力を高めた1～2体の作品を制作する。

◆到達目標 (学修成果)

トワル制作及び実物制作を通して、クリエイティブビティ、オリジナリティを表現できる作品制作を目指す。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため、必要な科目。

卒業制作発表会でショーを行ない、2年間で学んだファッション感覚、技術力の確認を行う。

外部審査委員による審査により評価をする。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	トワル パターンメイキング	予習：素材探し	60分
2回	トワル制作、トワルフィッティング、修正	復習：トワル組立て	60分
3回	トワル制作、トワルフィッティング、修正	復習：パターン修正	60分
4回	パターン作成、縫製確認	予習：縫製確認	30分
5回	パターン作成、縫製確認	復習：縫製確認	30分
6回	実物制作 実物生地裁断 部分縫い、実物フィッティング	予習：生地裁断準備	30分
7回	部分縫い、実物フィッティング	復習：部分縫い作成	60分
8回	縫製	復習：縫製確認習	30分
9回	縫製	復習：縫製確認習	30分
10回	縫製	復習：縫製確認習	30分
11回	縫製	復習：縫製確認習	30分
12回	縫製	復習：縫製確認習	30分
13回	縫製	復習：縫製確認習	30分
14回	縫製	復習：縫製確認習	30分
15回	縫製	復習：縫製確認習	30分
16回	縫製	復習：縫製確認習	30分
17回	縫製	復習：縫製確認習	30分
18回	作品提出 作品提出、ポートフォリオ作成	復習：ポートフォリオ・仕様書作成	60分
19回	トータルコーディネート、審査ボード作成	予習：作品の見直し	30分
20回	最終提出 審査会準備 ポートフォリオ提出	復習：作品の見直し	30分

◆フィードバックの方法

製図、縫製仕様書、ポートフォリオ、作品は点検・採点后に返却する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	—
試験	—
課題	30%
検定試験結果	—
企業評価 (インターシップ)	70%

・企業評価は審査会での企業を含む外部審査による評価とする。

◆教科書

なし

◆参考文献

ドレメ式原型、PATTERN MAKING I・II、SEMIING I～IV、基礎テキスト

ドレメサマーセミナーテキスト、ドレメパターンブック、各種ファッション雑誌、必要に応じて資料を適宜配布

◆オフィスアワー

峯岸：火曜日 (16時～17時) 本校舎3階 1031教室

齋藤：火曜日 (16時～17時) 本校舎3階 1036教室

◆備考

授業内容は変更することもある。

アパレルCGⅡ

齋藤 宣

服飾造形科 2年 通年 必修 (演習)

◆授業の方針・概要

ファッション業界のみならず、様々な業務において使われている Adobe Illustrator・Photoshop について基礎から学んでいく。それぞれのアプリケーションソフトの関連性・特徴を基本操作から学ぶことにより、アプリケーションソフトに作られるデザインではなく、それぞれの目的に沿ったイメージを表現できる活用方法を学ぶ。

◆到達目標 (学修成果)

Illustrator・Photoshop のそれぞれの基本操作と特徴を身につけることができる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。

Illustrator・Photoshop を効果的に使いこなす業務をスムーズに遂行する為のスキルが身につく。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション Illustrator (復習:配置、ペンツール)	復習:データ整理・確認	10
2回	Illustrator (復習:ペンツール、パスファインダー)	復習:データ整理・確認	10
3回	Illustrator (復習:ペンツール、文字ツール)	復習:データ整理・確認	10
4回	Photoshop (復習:選択ツール)	復習:データ整理・確認	10
5回	Photoshop (復習:色調補正)	復習:データ整理・確認	10
6回	Photoshop (復習:切り抜き)	復習:データ整理・確認	10
7回	カジュアルデザインポートフォリオ ラフデザイン	復習:データ整理・確認	10
8回	カジュアルデザインポートフォリオ	復習:データ整理・確認	10
9回	カジュアルデザインポートフォリオ	復習:データ整理・確認	10
10回	カジュアルデザインポートフォリオ	復習:データ整理・確認	10
11回	カジュアルデザインポートフォリオ	復習:データ整理・確認	10
12回	カジュアルデザインポートフォリオ 修正	復習:データ整理・確認	10
13回	カジュアルデザインポートフォリオ まとめ	復習:データ整理・確認	10
14回	クリエイティブイメージボード ラフデザイン	復習:データ整理・確認	10
15回	クリエイティブイメージボード	復習:データ整理・確認	10
16回	クリエイティブイメージボード	復習:データ整理・確認	10
17回	クリエイティブイメージボード	復習:データ整理・確認	10
18回	クリエイティブイメージボード	復習:データ整理・確認	10
19回	クリエイティブイメージボード 修正	復習:データ整理・確認	10
20回	クリエイティブイメージボード まとめ	復習:データ整理・確認	10
21回	クリエイティブポートフォリオ ラフデザイン	復習:データ整理・確認	10
22回	クリエイティブポートフォリオ	復習:データ整理・確認	10
23回	クリエイティブポートフォリオ	復習:データ整理・確認	10
24回	クリエイティブポートフォリオ	復習:データ整理・確認	10
25回	クリエイティブポートフォリオ	復習:データ整理・確認	10
26回	クリエイティブポートフォリオ 修正	復習:データ整理・確認	10
27回	クリエイティブポートフォリオ まとめ 提出	復習:データ整理・確認	10
28回	イメージマップ	復習:データ整理・確認	10
29回	イメージマップ まとめ 提出	復習:データ整理・確認	10
30回	ポートフォリオ 修正 提出	復習:データ整理・確認	10

◆フィードバックの方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	-
課題	70%
検定試験結果	-
企業計画 (インターシップ)	-

◆教科書

Photoshop しっかり入門

Illustrator しっかり入門

◆参考文献

なし

◆オフィスアワー

毎週:火曜日(16時00分~17時00分)本校舎3階1036教室

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある

ファッションテキスタイル

赤澤 結花

服飾造形科 2年 年間 10回 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

ファッションテキスタイルでは、織物についての基礎知識を学ぶ。織物の基本である「三原組織」は紙を切って経糸と緯糸を作り、「平織」「綾織」「朱子織」を手で織ってみる。紙で織った組織と既製の布を分解鏡で見比べ、基本的な織り方の知識を深める。同様に「千鳥格子」「ヘリンボーン」「タータンチェック」も紙で織ることによって、織物によるストライプとチェックの特徴と変化組織についても学んでいく。実際に卓上織機でマフラーを織ることで、織物の仕組みを理解する。また、1年次で学んだアパレル素材を復習するとともに、より実践的で新しい素材の情報も取り入れる。

◆到達目標（学修成果）

織物の基本を通して、アパレル素材の知識を深める。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。アパレル素材の知識を深めることは、より充実した作品制作とアパレル企業で働くことに役立つ。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	紙で織る三原組織 平織、綾織、朱子織	復習：既製の生地を見る	20
2回	紙で織る綾織の応用 千鳥格子、ヘリンボーン	復習：ヘリンボーンまで終わらせる	20
3回	〃 タータンチェック	復習：仕上げる	20
4回	アパレル素材について①	復習：ノートをまとめる	15
5回	アパレル素材について②	復習：ノートをまとめる	15
6回	卓上織機でマフラーを織る 設計書の記入 整経	予習：タテ糸を用意する	30
7回	箆通し～綜統通し	復習：綜統通しまで終わらせる	15
8回	巻取り 織付け ヨコ糸準備 試し織り	予習：ヨコ糸を用意する	30
9回	織布	復習：できるところまで進める	30
10回	織布 糸の始末 仕上げ	復習：設計書を完成させる	20

◆フィードバックの方法

課題提出物の返却時に講評する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

必要に応じてプリントを配布。

◆参考文献

テキスタイル用語辞典 成田典子著 (株) テキスタイル・ツリー

◆オフィスアワー

毎週：月曜日(16時00分～17時00分) 5201教室(第5校舎2階)

◆備考

授業内容は変更することもある。

ファッション画Ⅱ

谷川 冨

服飾造形科 2年 通年 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

1年次で学んだ基礎を発展させ、ファッション画を描く感性と技術を養う。マーカーを使用した着彩や様々な表現を学び、スタイル画と平絵の両方を描く力をつける。

◆到達目標 (学修成果)

目的に応じたファッション画を表現する事ができる。素材やシルエットを的確に捉えた平絵を描く事ができる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目である。ファッション画を通して、人体や衣服の構造への理解と創造性を深め、服飾造形とも大きく関連する科目である。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	画材の表現 マーカーの着色方法	復習：反復練習	20分
2回	様々なポーズの表現① 重心移動ポーズの復習	復習：反復練習	20分
3回	様々なポーズの表現②	復習：仕上げ作業	30分
4回	コンセプトに基づくデザイン① クリエイティブ授業との連携	予習：デザイン考案	30分
5回	コンセプトに基づくデザイン②	復習：仕上げ作業	30分
6回	ディテール・装飾等① ディテールからのデザイン考案	予習：資料収集	20分
7回	ディテール・装飾等②	復習：仕上げ作業	30分
8回	模写① コレクションから描く	予習：資料収集	20分
9回	模写②	復習：仕上げ作業	30分
10回	テーマに合わせたデザイン提案① 柄	予習：資料収集	20分
11回	テーマに合わせたデザイン提案②	復習：作業確認	30分
12回	テーマに合わせたデザイン提案③	復習：仕上げ作業	30分
13回	カラージュ① カラージュ制作	予習：資料収集	30分
14回	カラージュ② カラージュからのデザイン考案	復習：作業確認	30分
15回	カラージュ③	復習：仕上げ作業	30分
16回	テーマに合わせたデザイン提案① 素材	予習：資料収集	20分
17回	テーマに合わせたデザイン提案②	復習：作業確認	30分
18回	テーマに合わせたデザイン提案③	復習：仕上げ作業	30分
19回	アイテムのデザイン提案① コート	予習：資料収集	30分
20回	アイテムのデザイン提案②	復習：作業確認	30分
21回	アイテムのデザイン提案③	復習：仕上げ作業	30分
22回	コンセプトに基づくデザイン① 卒業制作のファッション画表現	予習：デザイン考案	30分
23回	コンセプトに基づくデザイン②	復習：作業確認	30分
24回	コンセプトに基づくデザイン③	復習：仕上げ作業	30分
25回	メンズファッション① プロポーションの描き方	復習：反復練習	20分
26回	メンズファッション②	復習：仕上げ作業	30分
27回	トラベルコーディネートの提案①	予習：資料収集	30分
28回	トラベルコーディネートの提案②	復習：作業確認	30分
29回	トラベルコーディネートの提案③	復習：仕上げ作業	30分
30回	まとめ・課題のフィードバック	復習：振り返り	20分

◆フィードバックの方法

各課題にコメントやアドバイス等を記入する。課題の返却時にもアドバイス等を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画 (インターシップ)	—

◆教科書

・ファッション画 ・必要に応じてプリントを配布する。

◆参考文献

必要に応じて適宜紹介する。

◆オフィスアワー

・連絡先：教務課(本校舎1階) ・授業終了後、質問等対応いたします。

◆備考

授業内容は変更する事もある。

クリエイティブデザインⅡ

杉山 尚子・齋藤 宣

服飾造形科 2年 通年 選択必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

自ら創造する力を養い、デザインの楽しさを学びます。新しい創造は、コレクションやストリートからの情報をふまえたうえで、個々の感性や五感を通して生まれます。過去から現在に至るまでの建築、彫刻、絵画、音楽、演劇などの美しさを感じることで創造するオリジナルなデザイン。デザイナーに必要な感性を磨く。服飾造形とも連動し、時代の空気感を意識した服作りもともに行っていく。

◆到達目標（学修成果）

デザイナーとして必要な感性と創造力を身に付けることを目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。感性を豊かにし、デザイン力を身に付けることで優れた作品制作へ繋がる。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション・授業の説明 描画材の説明 鉛筆デッサン 幾何形体	予習：画題画材の準備	15分
2回	布の表現① 鉛筆デッサン	予習：画題画材の準備	15分
3回	布の表現② 鉛筆デッサン	復習：作業の確認	10分
4回	クリエイティブデザイン実習① (アイテム研究と合同授業)	予習：コレクション雑誌閲覧	15分
5回	クリエイティブデザイン実習② (アイテム研究と合同授業)	予習：コレクション雑誌閲覧	15分
6回	クリエイティブデザイン実習③ (アイテム研究と合同授業)	予習：コレクション雑誌閲覧	15分
7回	立体構成①	予習：画材の準備	10分
8回	立体構成②	予習：画材の準備	10分
9回	立体構成③	予習：画材の準備	10分
10回	クリエイティブデザイン実習④ (アイテム研究と合同授業)	予習：点検の準備	30分
11回	クリエイティブデザイン実習⑤ (アイテム研究と合同授業)	予習：点検の準備	30分
12回	学生クロッキー	予習：画材の準備	15分
13回	人体クロッキー	予習：画材の準備	15分
14回	プリント柄制作 (PC) ①	予習：デザインの確認	15分
15回	プリント柄制作 (PC) ②	復習：課題確認	15分
16回	プリント柄制作 (PC) ③	予習：デザインの確認	15分
17回	異素材研究特別講義「ジュエリー実習」	復習：作品の撮影	10分
18回	異素材研究特別講義「皮革小物」Ⅱ	予習：素材の準備	10分
19回	アートディレクションについて	復習：課題確認	15分
20回	卒業制作のデザイン① (アイテム研究と合同授業)	予習：コレクション雑誌閲覧	30分
21回	卒業制作のデザイン② (アイテム研究と合同授業)	予習：コレクション雑誌閲覧	30分
22回	卒業制作のデザイン テキスタイル (アイテム研究と合同授業)	予習：素材の市場調査	60分
23回	卒業制作のデザイン テクニック (アイテム研究と合同授業)	予習：素材の市場調査	30分
24回	ポートフォリオ 表現テクニック①	復習：課題確認	30分
25回	ポートフォリオ 表現テクニック②	復習：課題確認	30分
26回	ポートフォリオ 表現テクニック③	復習：課題確認	30分
27回	卒業制作のデザイン画を描く①下書き	予習：コレクション雑誌閲覧	30分
28回	卒業制作のデザイン画を描く②下書き確認	予習：コレクション雑誌閲覧	30分
29回	卒業制作のデザイン画を描く③着彩	予習：コレクション雑誌閲覧	30分
30回	課題のフィードバックを行う	復習：作品の振り返り	60分

◆フィードバックの方法

課題提出物返却時に講評を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価	—

◆教科書

なし

◆参考文献

QUOTATION、gap 等

◆オフィスアワー

毎週：火曜日（16時00分～17時00分）本校舎3階1036教室

◆備考

各種コンテストの開催日などにより、日程内容を変更する場合もある

アイテム研究

峯岸 恵

服飾造形科 2年 通年 選択必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

現代のファッションは、多様化しており、めまぐるしく変化している。このような時代だからこそ、アイデアやイメージを形にする力が求められている。この授業では、オリジナル作品となるディテールの研究として、部分縫いやハンドワーク（服飾手芸）の実習を行い、技術と感性を高めていく。

年間数回、クリエイティブデザインと合同で授業を行う。

◆到達目標（学修成果）

習得したテクニックを応用し、服飾造形・実習、卒業制作での作品製作に活かすことができる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。服飾造形、卒業制作で優れた作品へと繋がる。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション	復習：授業内容の確認	10分
2回	部分縫い①「ポケット」	予習：部分縫いの準備	30分
3回	〃	復習：作業を進める	30分
4回	クリエイティブデザイン実習（クリエイティブデザインと合同授業）	予習：コレクション雑誌閲覧	15分
5回	〃	予習：コレクション雑誌閲覧	15分
6回	〃	予習：コレクション雑誌閲覧	15分
7回	部分縫い②③「パイピング」「縫代始末」	予習：部分縫いの準備	15分
8回	〃	復習：作業を進める	30分
9回	〃	復習：作業を進める	30分
10回	クリエイティブデザイン実習（クリエイティブデザインと合同授業）	予習：点検の準備	30分
11回	〃	予習：点検の準備	30分
12回	部分縫い④「あき」	復習：作業の確認	20分
13回	ハンドワーク①「ラティスマッキング」	予習：素材の準備	30分
14回	〃	復習：作業の確認	20分
15回	ハンドワーク②「キルティング」	予習：素材の準備	30分
16回	〃	復習：作業の確認	20分
17回	異素材研究特別講義「ジュエリー実習」	復習：作品の撮影	10分
18回	異素材研究特別講義「皮革小物」	予習：素材の準備	10分
19回	ハンドワーク③「ニードルパンチ」ほか	復習：作業の確認	15分
20回	卒業制作のデザイン（クリエイティブデザインと合同授業）	予習：コレクション雑誌閲覧	30分
21回	〃	予習：コレクション雑誌閲覧	30分
22回	〃	予習：素材の市場調査	60分
23回	〃	予習：素材の市場調査	30分
24回	自由作品製作 習得した技術を使った作品製作	予習：テーマを考える	30分
25回	〃	復習：作業を進める	30分
26回	〃	復習：作業を進める	30分
27回	〃	復習：作業を進める	30分
28回	〃	復習：作業の確認	20分
29回	まとめ	復習：作業の確認	20分
30回	課題のフィードバックを行う	予習：作業の確認	10分

◆フィードバックの方法

作品等の課題はその都度、点検・採点后に返却。

◆成績評価の方法・基準

・授業態度・姿勢、提出物の遅滞、作品完成度等を総合的に評価する。

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価（インターシップ）	—

◆教科書

部分縫いテキスト 他

◆参考文献

服飾用語事典、ファッションビジネス用語辞典、ファッションニュース
各種手芸書籍

◆オフィスアワー

火曜日（16：00～17：00）本校舎3階 1031教室

◆備考

日程及び内容を変更することもある。

パターンメイキング演習

峯岸 恵

服飾造形科 2年 年間 10回 選択必修 (演習)

◆授業の方針・概要

パターンメイキング技術検定試験対策の授業である。パターンメイキング技術検定試験は、アパレル業界の中でパターンメイキングを行う際の基礎知識と技術の試験である。受験対策として、繰り返し模擬試験を行う。

◆到達目標 (学修成果)

「パターンメイキング技術検定試験 3級」の取得を目的とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

選択必修科目のため、卒業に必要な科目。既製服の概念としての基礎知識を理論的に理解し、ファーストパターンから工業パターンに関する専門知識と技術を向上させる。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	パターンメイキング技術検定試験 3級について、ガイドブック読み合わせ説明	予習：ガイドブック確認	30分
2回	筆記試験対策① (模擬試験)	復習：模擬試験結果の確認	30分
3回	筆記試験対策② (模擬試験)	復習：模擬試験結果の確認	30分
4回	実技試験対策① パターンメイキング・トワル組立て	予習：シーチング地直し	30分
5回		復習：パターン・トワルの確認	30分
6回	実技試験対策② パターンメイキング・トワル組立て (模擬試験)	予習：シーチング地直し	10分
7回		復習：パターン・トワルの確認	30分
8回	実技試験対策③ パターンメイキング・トワル組立て (模擬試験)	予習：シーチング地直し	10分
9回		復習：模擬試験結果の確認	15分
10回	パターンメイキング検定試験準備 筆記試験、実技試験の確認	復習：検定試験の準備	20分

◆フィードバックの方法

パターンメイキング技術検定試験 3級の模擬試験理論・実技を繰り返し行い、その都度、授業時間内で解答解説を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	50%
課題	—
検定試験結果	20%
企業評価 (インターシップ)	—

・授業態度・姿勢、模擬試験、検定試験合否を総合的に評価する。

◆教科書

なし

◆参考文献

パターンメイキング技術検定試験 3級ガイドブック
パターンメイキング技術検定試験 3級試験問題解答・解説集

◆オフィスアワー

火曜日 (16時～17時) 本校舎 3階 1031 教室

◆備考

授業内容は変更することもある。

ファッションビジネスナレッジ

齋藤 宣

服飾造形科 2年 年間 10回 選択必修 (講義)

◆授業の方針・概要

本授業ではファッションビジネスの構造を様々な観点から捉え、ファッション産業全体像のより深い理解と共に、ファッションビジネス能力検定試験2級対策を実施してまいります。

服飾造形やファッションテクノロジーの受講授業内容を背景にしつつ、過去問題により、個々の弱点を確認ながら、ファッションビジネスや服飾造形に関して、必要な「知識」を修得してまいります。

◆到達目標 (学修成果)

本授業を履修し、学修の目標を達成できた結果、ファッション産業界全体像への広さ・深さを増した理解により、各自の業界における方向性の把握・役割の捉え方の視点が修得できます。「ファッションビジネス能力検定試験2級」の合格を目的としています。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

本科目は、服飾造形科の選択必修科目として、卒業認定に必要な科目です。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション/ファッションビジネス知識/過去問題実施/解答	FB知識 演習ホームワーク	30分
2回	ファッションビジネス知識/弱点把握と強化	FB知識 演習ホームワーク	30分
3回	ファッション造形知識/過去問題実施と解答	造形知識 演習ホームワーク	30分
4回	ファッション造形知識/演習問題と解説	造形知識 演習ホームワーク	30分
5回	ファッション造形知識/演習問題と解説	造形知識 演習ホームワーク	30分
6回	ファッションビジネス知識/計数①	計数知識 演習ホームワーク	60分
7回	ファッションビジネス知識/計数②	計数知識 演習ホームワーク	60分
8回	ファッションビジネス知識/計数②	計数知識 演習ホームワーク	60分
9回	検定直前過去問題実施と解答①	過去問題 復習	90分
10回	検定直前過去問題実施と解答②	過去問題 復習	90分

◆フィードバックの方法

過去問題をテーマごとに実施し、演習を繰り返し、解答を照合しながらフィードバックします。分からない用語などもピックアップし、弱点補強を行なっていきます。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	
課題	
検定試験結果	70%
企業計画 (インターシップ)	

◆教科書

『ファッションビジネス2級』(新版)(ファッションビジネス能力検定2級 公式テキスト)
日本ファッション教育振興協会/編

◆参考文献

配布資料
ファッションビジネス能力検定2級過去問題

◆オフィスアワー

毎週：火曜日(16時00分～17時00分)本校舎3階1036教室

◆備考

日程及び授業内容は変更することもあります。

アパレルCAD

菊地 正哲

服飾造形科2年 通年 選択 (演習)

◆授業の方針・概要

授業担当者のパターンナーとしての実務経験とパターンナーへの技術指導の実績を活かし、アパレルCADシステムの基本的な活用法を習得することを目指す。特にこれからのIT社会に対応したスキルを身につける為、PCの基本操作とデータ管理の方法、及び3Dの基本的な知識と操作も学ぶ。

◆到達目標 (学修成果)

アパレルCADシステムを使い、パターンメイキングの基本操作と活用法の習得を目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

選択科目のため、卒業のために必要な科目ではなく、アパレル業界においてのCADシステムの必要性和ツールとしての基本操作を理解する科目。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	CREA COMPO②システムの説明	予習:CADとは、を確認する。	10
2回	ボディ原型デジトレース	復習:トレース操作手順の整理	20
3回	Pattern Magic 基礎	復習:ショートカットキーの整理	20
4回	パターンメイキング基本操作①	予習:展開方法を確認しておくこと。	20
5回	パターンメイキング基本操作②	復習:項目、機能を整理する。	20
6回	パターンメイキング基本操作③	復習:項目、機能を整理する。	30
7回	ダーツ方向移動法と展開①	予習:展開方法を確認しておくこと。	20
8回	ダーツ方向移動法と展開②	復習:項目、機能を整理する。	20
9回	ダーツ方向移動法と展開③	復習:項目、機能を整理する。	20
10回	スカート原型作成	予習:展開方法を確認しておくこと。	20
11回	スカート パターンメイキング①	予習:展開方法を確認しておくこと。	20
12回	スカート パターンメイキング②	復習:項目、機能を整理する。	20
13回	3Dによるスカートのデジタルトータル作成	復習:項目、機能を整理する。	20
14回	スカート工業用パターン作成	予習:工業用パターンを確認する。	20
15回	基本操作まとめ	予習:項目、機能を整理する。	20
16回	ブラウス パターンメイキング①	予習:展開方法を確認しておくこと。	30
17回	ブラウス パターンメイキング②	復習:項目、機能を整理する。	20
18回	ブラウス パターンメイキング③	復習:項目、機能を整理する。	20
19回	3Dによるブラウスのデジタルトータル作成	復習:項目、機能を整理する	20
20回	ブラウス 工業用パターン作成	予習:工業用パターンを確認する。	20
21回	パンツ パターンメイキング①	予習:展開方法を確認しておくこと。	30
22回	パンツ パターンメイキング②	復習:項目、機能を整理する。	20
23回	3Dによるパンツのデジタルトータル作成	復習:項目、機能を整理する。	20
24回	パンツ 工業用パターン作成	予習:工業用パターンを確認する。	20
25回	ワンピース パターンメイキング①	予習:展開方法を確認しておくこと。	30
26回	ワンピース パターンメイキング②	復習:項目、機能を整理する。	20
27回	ワンピース パターンメイキング③	復習:項目、機能を整理する。	20
28回	3Dによるワンピースのデジタルトータル作成	復習:項目、機能を整理する。	20
29回	ワンピース 工業用パターン作成②	予習:工業用パターンを確認する	20
30回	パターンメイキングまとめ	予習:項目、機能を整理する。	20

◆フィードバックの方法

授業の中で、質問に答えてその都度、解決していく

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
試験	30%
課題	50%
検定試験結果	—
企業評価(インターンシップ)	—

◆教科書

PATTERN MAKING I・II・III 学校法人 杉野学園

◆参考文献

CREA COMPO② オペレーションマニュアル Toray Advanced Computer Solution INC
パターンメイキング技術検定試験ガイドブック 財団法人日本ファッショ教育振興協会

◆オフィスアワー

金曜日(15時35分~17時00分) 6101教室(第六校舎1F CAD室)

◆備考

状況により内容変更有り

色彩論Ⅱ

桑野 恵美

高度アパレル専門科2年 年間8回 必修(講義) / 服飾造形科2年・アパレル技術科2年 年間8回 選択(講義)

◆授業の方針・概要

色彩の基礎を理解した上でのファッション業界での色彩の応用力を講義と演習で学習する。
授業担当者は、各分野に落とし込んだ色彩提案を行う、カラーコンサルタント会社での実務を通じて感性に頼った色の考え方ではなく、客観的な視点でビジネスに通用する色の考え方や手法についての理解を目指す。

◆到達目標(学修成果)

ファッション色彩能力検定試験2級(1月実施予定)の受験を前提とし、合格を目標とする。
ファッション業界の企画から流通にいたるまでの実務で、目的に合った効果的な色選びができる知識の習得を目指す。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

色彩学Ⅱは、ファッション業界での色彩実務が学べ、それを活用していくことができる専門力向上に資する科目です。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	色名/光と色	色名の効果/光による色の見え方 復習:テキストを読む/該当ページの問題を解く	60分
2回	照明による色の再現性/配色技法①(流行配色)	照明による色の見え方の違い/配色技法①とその効果 復習:テキストを読む/該当ページの問題を解く	60分
3回	色覚・色彩の知覚的効果/配色技法②(流行配色・その他の配色)	視覚と色の知覚的効果/配色技法②とその効果 復習:テキストを読む/該当ページの問題を解く	60分
4回	色の表示/色見本とカラーコード/調和の技術	色の表示の目的と意味 復習:テキストを読む/該当ページの問題を解く	60分
5回	色彩調和論/配色の応用	色彩調和論とその応用 復習:テキストを読む/該当ページの問題を解く	60分
6回	ファッションイメージとカラーコーディネーション ファッション産業における色彩計画①	イメージ配色/商品企画/生産段階における色彩 復習:テキストを読む/該当ページの問題を解く	60分
7回	ファッション産業における色彩計画②	VMD/パーソナルカラー 過去問題を解き、自分のウィークポイントを把握する	180分
8回	過去問題のフィードバック/総復習	苦手な箇所を本文で確認する 問題集を繰り返し解く	120分

◆フィードバックの方法

- ・過去問題はポイント箇所を中心に解説を行います。問題集は、必要であれば解説を行います。
- ・カラーワークの課題について集めた場合は、個々にコメントを入れて返却しますが、同時に全体に向けての講評をします。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	30%
検定試験結果	40%
企業計画(インターシップ)	—

◆教科書

「ファッション色彩[Ⅱ]」 財団法人 日本ファッション教育振興協会
「ファッション色彩能力検定試験2級問題集」 財団法人 日本ファッション教育振興協会

◆参考文献

適宜アナウンスします。

◆オフィスアワー

授業前後の時間で質問等対応します。

◆備考

教科書、問題集、配色カード(1年次使用)、はさみ、のりは毎回、準備してください。
各回の授業の順番・内容は変更になる場合があります。

コミュニケーションスキルⅡ

森下 公雄

服飾造形科2年 年間10回 選択必修(演習) / ファッションビジネス科2年 年間10回 必修(演習)

◆授業の方針・概要

コミュニケーションにおける会話にての「伝える」「きく」ということを理解する。
自分を知ってもらい、相手を理解するといったことを理解した上で、「説得」と「傾聴」のスキルを身につける。
自分を他者に理解してもらい、自身の意見を他者に理解してもらうためにはどう振舞えばよいかを体系的に理解する。

◆到達目標(学修成果)

自身のキャリアビジョンを他者にプレゼンテーションし理解してもらう。
ファッションビジネスにおいて、接客/販売/営業、企画プレゼンなどで使用するコミュニケーションスキルを習得する。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

接客応対時に顧客視点での応対が出来るようになる。
ファッションビジネスだけではなく、コミュニケーションスキルを高め対人関係の良好化する。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	自分を理解し他者に知ってもらい(自己PRする)	復習: キャリアビジョン	15
2回	お客様をもてなす準備(友人を招く)	復習: 店頭での準備	20
3回	「気配り」と「心配り」の違いを知る(準備と先読み)	復習: 気配り実践	15
4回	第一印象の必要性理解(あいさつと表情)	復習: お客様視点	15
5回	相手に興味をもつ(リサーチとアプローチ)	復習: 他者を観察する	15
6回	「伝える」ことの意味(ノンバーバルコミュニケーション)	復習: ノンバーバル理解	20
7回	「きく」ことの意味(3つのきくと質問の理解)	復習: 質問の活用	20
8回	セールストーク(良いところを見つけ説明する)	予習: 強みの理解	30
9回	他己紹介(パートナーのことをプレゼンする)	予習: 仲間の長所理解	30
10回	セルフプレゼンテーション(自身の夢やビジョンをプレゼンする)	予習: 発表準備	60

◆フィードバックの方法

- ・講義内でディスカッション形式を取り入れ、各自の参画を促す。
- ・講義内でロールプレイング(実践)を取り入れ、知識だけではなく経験値を高める。
- ・9回目にプレゼンテーション(自己PR)の準備、10回においてプレゼンテーションを実施し評価。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験(最終プレゼン)	50%
課題	20%
検定試験結果	—
企業計画(インターシップ)	—

◆教科書

講師作成の資料に基づき講義します。

◆参考文献

特になし

◆オフィスアワー

- ・授業終了後、質問や相談に対応します。
- ・その他メールでの問い合わせは随時対応いたします。

◆備考

講師作成の資料に基づき講義します。
必要資料は適宜配布いたします。

プレゼンテーションⅡ

赤川 順子・齋藤 宣

服飾造形科 2年 年間 10回 選択必修 (演習)

◆授業の方針・概要

アパレル業界で、ブランドを発表している経験を生かし、プランニングのコアとなるコンセプト、ターゲット、トレンド、シーズン性を考慮しながら、アパレルブランドのプランニング的演習を行い、プレゼンテーションによって完結させる。

◆到達目標 (学修成果)

ファッション分野をテーマに基づいてストーリーを組み立て、ビジュアル化し、発表する力を取得する。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要とする科目。表現者として、社会で必要とされる言葉とビジュアルでの伝達力を確立する。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリジナルブランド (プレゼンテーションの本質を理解) ★	予習: マーケットリサーチ	30分
2回	オリジナルブランド (プランシート作成、アイテム展開考案) ★	復習: 展開をまとめる	20分
3回	オリジナルブランド (PC作業)	復習: PC作業	30分
4回	オリジナルブランド (PC作業)	復習: PC作業	30分
5回	オリジナルブランド (デザイン、コーディネート構成確認) ★	復習: デザイン確認	30分
6回	オリジナルブランド (資料作成)	復習: PC作業	30分
7回	オリジナルブランド (資料作成)	復習: PC作業	30分
8回	オリジナルブランド (コーディネートチェック、資料確認) ★	復習: コーディネート確認	30分
9回	オリジナルブランド (資料作成)・プレゼンテーション準備	予習: プレゼン原稿考える	30分
10回	プレゼンテーション	復習: 成果物を見直す	20分

◆フィードバックの方法

プレゼンテーションの結果を講評、提出物はコメントを加えた後に学期中に返却。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

なし

◆参考文献

なし

◆オフィスアワー

赤川…授業終了後、質問等対応する

齋藤…毎週: 火曜日 (16時00分~17時00分) 本校舎 3階 1036教室

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

特別講義Ⅱ

峯岸 恵・齋藤 宣

服飾造形科2年 集中 必修 (講義)

◆授業の方針・概要

年間を通じて、ファッション業界で活躍するスペシャリストを招き、ファッション業界の現状から最新のトレンドや企画立案、技術的な部分までの講義を聞き、常に最新の知識や技術を学ぶことを目標とする。知識向上と業界人が考える物作りの考え方を修得する。

◆到達目標 (学修成果)

服飾造形Ⅱの授業と連携しながら、学内では学べないファッション業界の現場を知ること、今学んでいる事の重要性を感じ自己の知識向上を目的とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため、卒業に必要な科目。将来の就職に向けて仕事を理解するために必要である。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	コレクショントレンドセミナー	先生により各回違う。 準備等や時間は事前に知らせる。	
2回	現代ファッションの歴史		
3回	クリエイティブなデザインの考え方		
4回	副資材について (YKKセミナー)		
5回	ジュエリーの知識		
6回	サステイナブルファッション		
7回	皮革の扱い方 (演習を含む)		
8回	ニューヨークコレクショントレンドセミナー		

◆フィードバックの方法

講義ごと聴講した後にレポート等を提出させる。点検後に返却する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価 (インターシップ)	—

・学習態度 (出席状況を含む)、レポート等を総合的に評価する。

◆教科書

なし

◆参考文献

必要に応じて資料を適宜配布する。

◆オフィスアワー

授業終了後、質問等に対応する。

◆備考

外部講師による授業なので、内容や時間等は、先生により変更がある。

中国語会話

盧 繁華

高度7パル専門科2年 後期 必修（講義）／服飾造形科2年・ファッションビジネス科2年・7パル技術科2年 後期 選択（講義）

◆授業の方針・概要

まずは中国語の「発話」から学習します。正確な発音や中国語式スペリングをしっかりと覚えてから、文の構造及び基礎文法文型と慣用語句を学びます。聴く、話す、書くという形式で授業を進めます。

◆到達目標（学修成果）

話せる、聞き取れる中国語会話力を身につけることと日中翻訳もできる目標とします。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目ではありませんが、職場にて必要な場合に対応できる一つの語学技能となります。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	第1課 発話訓練キャンプⅠ 母音類 中国語のスペリングのしくみ	第1課の母音類の発声練習	20分
2回	第2課 発話訓練キャンプⅡ 子音類 スペリングの表記法	第2課の子音類の発声練習	20分
3回	第3課 発話訓練キャンプⅢ 何月何日？ / 何時？	第3課の数、月日・曜日、時刻	30分
4回	第3課Ⅱ 第4課Ⅰ お名前は？ / どちらの学校？	第4課の人称名詞、「是」の構文	30分
5回	第4課Ⅱ 第5課Ⅰ だれ？ / なに？ / これは～です	第5課の動詞の文、疑問詞の種類	30分
6回	第5課Ⅱ 第6課Ⅰ いる / ある /	第6課の指示代名詞Ⅰ、「有」の文	30分
7回	第6課Ⅱ 第7課Ⅰ どこにいる？ / AそれともB？	第7課の指示代名詞Ⅱ、「在」の文	30分
8回	第7課Ⅱ 第8課Ⅰ どれくらいかかる？ / ～するのが好きです	第8課の形容詞の文、前置詞	30分
9回	第8課Ⅱ 第9課Ⅰ いくら？ / Aよりも～です？	第9課の比較文、手段方法の表現	30分
10回	第9課Ⅱ 第10課Ⅰ ～したい / どこで？	第10課の助動詞使い方、過去形	30分
11回	第10課Ⅱ 第11課Ⅰ ～できる？ / ～していい？	第11課の助動詞の各種の表現	30分
12回	第11課Ⅱ 第12課Ⅰ ～している / ～したことがある	第12課の動詞の各種の進行形	30分
13回	第12課Ⅱ 総合会話のまとめ	常用品詞と慣用語の復習、ドリル	30分
14回	総合文法のまとめ	基本文法・文型復習、ペーパー	30分
15回	確認筆記テスト	セルフチェック	60分

◆フィードバックの方法

授業内と授業外の指定練習課題があり毎回提出し、期末に総合まとめて成績評価とします。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	30%
課題	40%
検定試験結果	—
企業評価（インターンシップ）	—

◆教科書

『はじめよう楽々中国語』（白水社）

◆参考文献

学内の図書館にある『日中辞典』や週刊新聞の『中文導報』等を利用します。

◆オフィスアワー

毎週木曜日 13:00～17:00 までの時間帯は大学研究棟の6030号室にいます。

◆備考

なし

ビジネスコンピュータ（応用）

齋藤 宣

服飾造形科2年／ファッションビジネス科2年／アパレル技術科2年／高度アパレル専門科2年 前期 選択（演習）

◆授業の方針・概要

ビジネスにおいてコンピューターは必要不可欠である。ビジネスソフトの中でも Microsoft Office 系アプリケーションソフト（Word・Excel・PowerPoint）は各種業界の中でも特に使われている。

基礎を勉強することで様々なツールの使い方を理解し、プレゼンテーションや提出資料がより分かり易く、伝わりやすい資料作成ができるよう実践していく。

◆到達目標（学修成果）

Microsoft Office 系アプリケーションソフトを理解し、資料作成するための操作ができるようになる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目でない。社会人に必須な PC スキルの基本を身に付ける科目である。

◆授業計画

回数	授業内容		準備学修	
			具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	Word	基本の復習	予習：Word 基本操作	10分
2回		Word 作品制作（フライヤー）①	予習：フライヤーについて調べる	10分
3回		Word 作品制作（フライヤー）②	復習：作業	10分
4回		Word 作品制作（フライヤー）③	復習：excel ホーム画面の確認	10分
5回	Excel	基本の復習	予習：Excel 基本操作	10分
6回		関数① 関数について	復習：操作確認	10分
7回		関数② 統計	復習：操作確認	10分
8回		関数③ 日付・時刻・文字操作	復習：操作確認	10分
9回		関数④ 論理	復習：操作確認	10分
10回		関数⑤ 情報・検索	復習：操作確認	10分
11回	PowerPoint	アニメーションの設定・動画挿入	復習：操作確認	10分
12回		PowerPoint 作品作成①	復習：作業	15分
13回		PowerPoint 作品作成②	復習：作業	15分
14回		PowerPoint 作品作成③	復習：作業	15分
15回		PowerPoint 作品作成④プレゼンテーション	予習：プレゼン原稿考える	15分

◆フィードバックの方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価（インターシップ）	—

・授業態度、提出物の遅滞、作品完成度等を総合的に評価する。

◆教科書

なし

◆参考文献

エクセル&ワード&パワポ+エクセル関数 基本&便利ワザまるわかり（GAKKEN COMPUTER MOOK）

◆オフィスアワー

毎週：火曜日（16時00分～17時00分）本校舎3階1036教室

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

服飾造形・実習Ⅱ（染色）

鎌田 美恵

服飾造形科2年 年間6回 必修（実習・実技）

◆授業の方針・概要

ファッションを構成する要素の一つである色。同じ素材、同じデザインの服でも色の違いによりかなり印象が変わってくる。その色を染め着ける染色は、繊維・糸・生地や縫製後の製品の各々の段階で行われている。

染色の基本に基づいたワークショップを指導してきた授業担当者の経験を活かし、この授業では化学染料や顔料を使用し、ハンカチ・Tシャツ・エコバックなどの身近な製品を絞り染、タイダイ染やステンシルなどの技法で、また専用生地でおパール加工処理の実習を行いそれぞれの染色技術を修得する。また各技法に合ったデザインの考案や調色方法、前処理（ムラなくきれいに染めるため）や後処理（堅牢度を高める）など一連の染色工程を学修する。実習を通して繊維と染料の関係、各染料による染法、染料と顔料の違いなど基本的知識も修得する。

◆到達目標（学修成果）

染色の技術や知識を得て理解を深めることにより、服飾造形に活かせるクリエイション力や応用力を高めることができる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため卒業に必要な科目である。修得した基本的な染色技法や知識を作品制作に繋げる。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション 絞り染（ハンカチ）／スレン染料 絞り	復習：絞り技法の調査	20
2回	↓ 染色・後処理	復習：作業の確認	15
3回	タイダイ染(Tシャツ)／反応染料 絞り・染色・後処理	予習：染色方法調査	30
4回	ステンシル(エコバッグ)／顔料 図案・型紙作製・精練	予習：図案考案	30
5回	↓ 染色・熱処理	予習：色彩計画	30
6回	おパール加工／直接染料 糊置き・染色・後処理	予習：染色方法調査	30

◆フィードバックの方法

課題作品は評価後、速やかに返却する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画（インターシップ）	—

◆教科書

なし

◆参考文献

新版 染色加工学 越川寿一編 酒井書店・育英堂
絞り染め大全 安藤宏子 誠文堂 新光社
染色の基礎知識 合成染料の技法 染織と生活社

◆オフィスアワー

授業終了後質問などに対応します。

◆備考

授業内容は変更することがある。